



SINCE 2005

Vol.217
monthly issue

加子母通信

May 2023



特集 加子母の酪農

厳しい酪農の今



実際に酪農の仕事をやってみてどうですか？

きびしいね。自分をはじめた二十五歳の頃と、今は状況がガラッと変わってる。今から十年くらい前にも穀類の高騰や、原油が上がって船運賃が上がったり…。耐えて耐えて二十六年やって来たんだけど、ここ二年半の変わりようは尋常じゃない。日本

加子母で酪農をやるっていいよって、

だいたい六〇〜七〇年くらい前は、このうちホルスタインを二頭か三頭か飼って、絞って搾乳缶に入れてや収入所まで持っていくのが子どもの仕事みたいな感じで。昔の人たちはそういう風だったものでかなり軒数はあった。

自分が子どもの時は酪農やってたのは十五軒くらいあったかな。でも今はどこも厳しいんで、自分とこ含めて三軒やね。

私たち消費者ができることはありますか？

牛乳を飲んでもらえるとありがたい。スーパーとかに並ぶものは、成分をかまってるものと水分無調整があって、酪農家の立場だと、水分無調整の本当の牛乳ってやつを消費者の方には飲んでもらえればありがたいと思う。まあでもみんなそれぞれ好みもあるんで。

牛乳を買って地元の酪農を応援してもらえるとありがたいよ。



まだつす暗い朝の五時半。搾乳の様子を見学すべく、田口牧場にお邪魔しました！牛乳は牛の乳。頭ではわかっていたのに、牧場に入ると約五十頭の牛にびっくり！牧場内は牛の体温で牧場内はほんわかあたたかく、牛のおしりの豪快さや、鳴き声、牛一頭一頭の表情など…改めて「生き物」の乳をいただいていることを実感しました。搾乳見学後は、田口牧場の田口昌志^{まさし}さんに「酪農の今」についてお話を伺いました。

厳しい酪農の今



昌志さんはいつから酪農家の道へ？

二十五歳やもんで、今二十六年やとるかな。元々はおじいちゃんが山やりながら酪農をはじめ、親父の代で本格的にやりはじめた。僕で三代目か。昔は加子母の家はどこも乳牛をやとつたもんで、珍しいことではなかったよ。

酪農をはじめたきっかけは？

イメージがよくないと思つとつたし、子どもの頃は酪農家になろうとは思つてなかった。加茂農林の畜産科を卒業して、北海道で酪農の学校へ行つたけど、その後は五年ほど酪農の設備会社に入った。その時に酪業界、特に愛知県が盛んでほとんど大きくなって…。厳しいなりに、省力化しながらうまく経営を成り立てたのを見て、自分でもやってみようかなと思つようになつた。うちの経営もそんなによくなつたから、自分が入つてもう少し経営の手助けになればいいかなって思いで25歳の時に加子母に帰ってきた。

実際に酪農の仕事をやってみてどうですか？

きびしいね。自分をはじめた二十五歳の頃と、今は状況がガラッと変わってる。今から十年くらい前にも穀類の高騰や、原油が上がって船運賃が上がったり…。耐えて耐えて二十六年やって来たんだけど、ここ二年半の変わりようは尋常じゃない。日本

は飼料をほぼ輸入に頼つてるのもあって、この二年で飼料の価格は二・五倍で、電気代も二倍に。ウクライナの情勢や円安の影響を受けて先行きが見通せないのが現状だね。

輸入に頼らない方法は可能なんですか？

加子母でもどこでも、昔は稲藁を集めて食べさせてとつたけど、それじゃ生産性が上がらないってことがわかってきて、だんだん飼料は輸入頼りに。

日本全体でそれなりに優良のレベルアップを測って牛乳の乳量や乳質が安定したけど、今の状態になってから経営は厳しいよ。なので経営を安定させるために、和牛の繁殖を取り入れたり、自給飼料の作付けを増やしてみたり…。牛の健康と乳量の安定のために、おからを発酵させた飼料や醤油かすを取り寄せて餌にしてみたり…。工夫の毎日。

厳しい状況というのを知りませんでした…。牛乳といえはいつまでも手軽に飲めるイメージでした。

大変だからといって牛乳の値段をあげるって、消費が落ちちゃうもんで…。難しいところ。八月にはキロあたり十四値上がりするんことが決まったけど…。その値上げだけで全てがまかなえないのが現状。

ここ数年はコロナで学校給食がなかった時期が長かったから、牛乳が余ると粉にして保存してたんだけど、その在庫が積み上がったるもんで…。在庫を積み上げたためにもその価格をあげたくないっていうのがメーカーの本音で…。農家の立場としては採算が合うように値段を変えようとするんですけど、すごい値上げの必要になる。トントんになればいい方だけど、実際はやればやるほど赤字が広がる一方。

私たち消費者ができることはありますか？

牛乳を飲んでもらえるとありがたい。スーパーとかに並ぶものは、成分をかまってるものと水分無調整があって、酪農家の立場だと、水分無調整の本当の牛乳ってやつを消費者の方には飲んでもらえればありがたいと思う。まあでもみんなそれぞれ好みもあるんで。

牛乳を買って地元の酪農を応援してもらえるとありがたいよ。

わが家のPet!

万賀 ななちゃん #32

家主のご主人が亡くなって1年と少し、ワタシは1匹でお留守番しているの。ご近所の人やエサのお世話をしてくれたり、気にかけてくれる人がいるから人にも慣れて来たの。ワタシに話しかけてくれるから「ニャー」ってお返事できるの。窓から見える景色を眺めていることが好きなの。

りえ



コウノトリ

	2022年度		2023年度	
	男	女	男	女
4月	0	1	0	0
5月	1	0		
6月	1	0		
7月	0	0		
8月	1	0		
9月	0	0		
10月	2	0		
11月	0	0		
12月	0	0		
1月	2	0		
2月	1	0		
3月	0	0		
計	8	1	0	0

(令和5年4月15日現在)

かしも通信文芸

川柳 客足の減って大きく灯のゆらぐ
 短歌 夜に入りて峠越揺れば栗の花今盛りらしつよく匂へり
 短歌 指折りて数える年となりける我が療養もすでに長かり

南竜太
 梅田和衣智
 加藤香峰

わたしもかしも vol.80



かしも紀行

里山スケッチ

庭に「ジジババ」が咲いていた

3月の始め、そこここに去年の落葉が積もり、片付けないと春先の花芽の出るのを邪魔するかなと思いつつと足元を見ると、なんと春蘭が菫蘭に隠れるように咲いている。

私が誰かに株を頂いて植えたのか、覚えがない。春蘭も花の後、種はできるが、実生ではほとんど発芽しないと書いてある。鳥が種を?という可能性も無いように思う。でも、私の足元には5本の春蘭が静かに下を向いて咲いている。

私が加子母へ来て間もなくの頃、友人が食事に誘ってくれた。その時、お膳に乗っていたのが春蘭の天麩羅だった。美味しかったかどうか忘れてしまったが、天麩羅で食するほど、春蘭が多く自生している加子母の自然を想い、心豊かになった。「この辺では、春蘭の事をジジババとも言うよ」と教えてもらった。その時はなんとも不似合なと思ったが、今、手にとって良く見ると、その静かな控えめな姿も、顔を隠すような花卉の付き方、周りの緑に同化した色など、「ジジババ」という名前が腑に落ちた、気がした。庭の「ジジババ」大事にしよう。相手は植物だけど、通じるものがある。



佐野智哉のキツキノート

息子がこども園に入園しました。

このような節目を迎えると時間が経つのは早いなあと思います。当然ですが、自分も同じだけ歳をとっているの、少しは成長できたかな?と思ったりします。でも実は子供の頃からほとんど変わったりしていないのかも。そう思うと、子供の興味があるもの、関心をしめすものはどうやって決まっているのか不思議にも思います。

家庭や地域の環境が影響を与えることはもちろんですが、みんなそれぞれ好きなものや夢があったりして、個性があるのは不思議に思います。

子供のそれぞれの個性が変わらず残って欲しいと思いつつも、成長していく様子も楽しみです。



「マーラー」って誰?

それは、5月27.28日に明治座クラシックコンサートで演奏される作曲家です。ベートーベンとかモーツァルトは知ってるけど...という方もいらっしゃると思うので、ちょっと豆知識をご紹介します。マーラーは1860年に今のチェコにあたるボヘミアで生まれました。(日本は江戸時代で、桜田門外の変の年です。)作曲家、指揮者として名声を得ましたが、50歳で亡くなっています。マーラーの交響曲は、その規模の大きさ、複雑さにも関わらず世界中のオーケストラによく演奏されますが、それだけ人気がある曲なんですね。彼の音楽には、愛・不安・苦悩・恐れ・混沌と言ったものを感じさせ、聴く人の共感を呼ぶからでしょう。

さて、私は今回ピアノで参加しますが、テンポが凄く揺れる曲なので皆で息を合わせるのが重要なポイントです。漂うような雰囲気があるマーラー音楽は、テンポの揺れも一つの大きな要素と感じます。3日間の練習で息が合うようにするのは集中力のみ。どんなふうにも曲が出来上がっていくのかドキドキと楽しみです。

もう一つのフルート協奏曲はフランス音楽で、マーラーとは全く違う響きの素敵なプログラムですのでどうぞ楽しみにお出かけください。(原ゆうみ)

編集後記

編集長/秦雅文

そろそろ今年の歌舞伎の準備をしなくてはならない時期になってきました。先日、名古屋の御園座へ中村屋の歌舞伎を観に行きましたが中村勘九郎さんの早変わりには、ハイテク技術を使わなくてもドキッとさせられ、まるでドリフを観ているかのようなところもあって楽しめました。ドリフも歌舞伎から多くのヒントを得て笑いに変えています。長い伝統があるだけに歌舞伎にはたくさんの要素が詰まっています。

歌舞伎の歴史は400年と言われますが400年やっている人はいないわけで、一人の役者が関わるのは数十年なわけですから、全てを身につけることもできないわけです。ましてや私たちのような地歌舞伎ともなると素人ですから短い間に体験できることは新しいことばかりです。運動的にも美術的にもむしろ斬新なことが多くあり、いろんなヒントが詰まっているので、一つ一つ紐解いていくのは新鮮です。田舎に居ても、たまに都会で歌舞伎を観て、自分もどこかで繋がっている意識を持てるなんてオシャレだと思います。都会の人にはできないことですから、ここでやっける人だけの特権です。

かしも食堂

昔から伝わる絶品料理を紹介！
食には文化があらわれる。



桜井莞子さんのミルク豆腐

NHK「シェフの休日」の番組で紹介された桜井莞子(えみこ)さん70歳で東京都青山で家庭料理の店をもち、現在79歳。そこで紹介されたミルク豆腐が気に入り作っています。一番だしで牛乳をたっぷり使い絶品です。優しい味がします。



材料

くず粉:50g
一番だし:200cc
牛乳:200cc
生クリーム:200cc

作り方

- ①くず粉とだし汁をよく溶く。火に掛けて混ぜる。
- ②牛乳、生クリームを入れてとろみが出るまで煮る。
- ③型に流し込み冷やす。
- ④切って盛り付ける。テレビでは、パプリカのマリネをのせていました。

絵手紙: 加子母公民館絵手紙教室協力
加子母の美味しい料理や昔の料理など教えてください。
福井三月 ☎ 0573-79-2627

小郷 けいちゃんの こざと

お持ち帰りも好評です!

Tel: 79-3618
(サブロクジュウハチ)
定休日 月・火曜日



ニワデン

(一財) 岐阜県消防設備協会 会員

消火器の点検、販売、廃棄処分ご相談ください。
悪質な消火器の
訪問販売にご注意を!

Tel. 79-2285



かしも通信
2023年3月25日発行 No.217

Publisher Hara Yuumi
Editor in Chief Hata Masafumi
Deputy Editor Honma Kiyoko
Editors Tanaka Hiroko
Sato Yoko
Sano Tomoya
Fukui Yayoi
Susaki Yusa
Fukui Rie
Taguchi Sachiko
Correspondent Zenda Nao
Illustrator Honma Kiyoko



かしもっ子だよ全員集合!



中 自立への第一歩 入学式 4月



小 やる気いっぱい1年生



こ 開園式 来賓様と5歳児親子



こ 入園式 3歳児うさぎ組親子

中学校 ▶ 4月7日、令和五年度新入生、20名の「入学式」が行われました。緊張感のある中で、時折こぼれる笑顔や先輩たちが飾ってくれた花のおかげで、外は大雨でも、会場内は春の雰囲気にあふれていました。

生徒代表の田中真優さんは新入生に向け「いろいろな事に興味を持ち、経験したことのないような世界を広げてください。」「たくさんの挑戦をして、自らの成長につなげてください。」「短い3年年間、沢山楽しんで、その楽しさをみんなで分かち合ってください。」と中学校生活をより良くするための秘訣を伝えてくれました。

次に、新入生代表の森雪乃さんは、小学校で身に付けてきた「先のことを見通して行動する力」と「仲間と繋がりをもって動く力」を発揮し目標に向かって進んでいきたいと語りました。学級開きでは担任の大山真美先生と「中学校で自治を大切にしているのはなぜか。」また「3年後、自立して卒業するために、どんな生活をしたいだろう。」ということについて考えました。いい意味で、3年後ですら予測するのが難しい世の中になりました。「昨日までの当たり前が今日の当たり前ではない」という事も増えています。これからの激動の時代を生きていく子ども達には「主体的に考え、挑戦し、バージョンアップし続ける力」が必要です。そのために中学校生活で、たくさんの「成功」と「失敗」と「やり直し」を経験し「見える学力」「見えない学力」双方を身に付け、3年後、立派に巣立って欲しいと改めて願う1日になりました。

小学校 ▶ 令和5年度 加子母小学校に9名の1年生が入学しました。入学式では、校長先生から加子母小学校の教育目標「めあてをもって やりぬく子」についてのお話を聞きました。小学校で新しいことについて挑戦し、やりぬく子になってほしいと思います。

新しい生活にワクワクドキドキしながら、目を輝かせて登校しています。勉強、給食、掃除など、初めてのことばかりですが、やる気いっぱい挑戦しています。ランチルームでの給食ですが、自分たちで盛り付けをして、おいしく食べ、片付けることができます。

今年度、加子母小学校は全校児童66名でスタートします。子供たち一人一人が「なりたい自分」に向かって成長することを願っています。

こども園 ▶ 令和5年度から加子母こども園となりました。6日(木)の日はあいにくの雨となりましたが、開園式(来賓の皆様と5歳児親子参加)と入園式(3歳児親子参加)を行う事が出来ました。新年度は2歳児(りんご組)4名・3歳児(うさぎ組)12名・4歳児(たんぼ組)10名・5歳児(ぞう組)16名 全園児42名でのスタートです。

5月8日からコロナが5類へと引き下げられる為、少しずつコロナ前の生活へと戻っていきけると思える気持ちになりますが、感染状況に留意しながら活動を行っていきます。また1名の保育士が退職、人事異動により1名が転出し、2名の転入がありました。今年度もよろしく願い致します。

乳幼児 ▶ 加子母・付知子育て支援センターくるりんば 感染症拡大防止対応の『くるりんば開放日』を設けています。



5月の行事予定

【お願い】現在、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、イベント等が中止や延期、規模を縮小しての開催になっています。下記予定も変更等される場合は十分にありますので、ご承知おきください。

1	月	【中学校】あいさつ運動 【中学校】生徒総会
2	火	
3	水	憲法記念日
4	木	みどりの日
5	金	こどもの日
6	土	
7	日	
8	月	【こども園】身体測定
9	火	
10	水	【こども園】避難訓練 【小学校】自転車教室(3・4年生)
11	木	
12	金	【小学校】遠足(低・中学年)
13	土	【こども園】参観・保護者会総会
14	日	大型・有害ごみ(9~13)
15	月	
16	火	
17	水	6か月児・1歳児相談(付知会場) ↑ 受付時間は個別で案内します 【中学校】歯科検診 【小中学校】小中子供会
18	木	BCG予防接種(午後)福岡会場 ※要予約 【こども園】おにぎりの日
19	金	【小学校】遠足予備日
20	土	
21	日	不燃・硬質・資源ごみ(17~18) 【小中学校】PTA資源回収
22	月	【こども園】交通安全教室
23	火	
24	水	3歳児健診(午後~福岡会場) 【こども園】誕生日会
25	木	区長会(14:30~)
26	金	【こども園】春の遠足 【中学校】1年生心電図検査 【中学校】2年生血液検査 【中学校】勉強がんばり週間
27	土	明治座クラシックコンサート(17~)
28	日	明治座クラシックコンサート(13~)
29	月	【中学校】委員会
30	火	【中学校】3年生修学旅行
31	水	【中学校】3年生修学旅行

ドライバーの皆さんは、子供を見かけたら、減速して動静を確認するとともに、思いやりを持った運転で子供を交通事故から守りましょう。



こちら総合事務所です

このページでは、加子母総合事務所からみなさんへ、地域に密着した情報をお知らせします。みなさんの身近な地域情報をお寄せ下さい。(加子母総合事務所:0573-79-2111まで)

令和5年度区長会初顔合わせが行われました

今年度の区長の皆さんです。一年間、よろしくお願いします!

- ◆小郷 中島 直樹さん ◆小和知 田口 和喜さん ◆二渡 片田 正人さん
- ◆番田 伊藤 政彦さん ◆中切 佐々木 昭一さん ◆上桑原 長尾 修さん
- ◆中桑原 内木 博さん ◆下桑原 古田 孝司さん ◆万賀 吉村 嘉隆さん
- ◆角領 安江 一浩さん

令和5年度加子母総合事務所事務分掌

	補職名	氏名	在課年数
事務所総括	所長(兼)加子母ふれあいコミュニティーセンター所長(併)中津川・東白川食と文化の館給食センター所長(併用)ふれあいのやかた かしも館長	林 宏樹	(4年目)
	総務企画・生活福祉・住民・教育・生涯学習スポーツ・文化振興	原 理英 古田 ゆか 松原 典顕 伊藤 伸也	(2年目) (4年目) (4年目) (5年目)
産業振興・基盤	所長補佐	田口 茂和	(1年目)
	所長補佐	西尾 辰郎	(8年目)
	所長補佐	今井 潔	(3年目)
	嘱託公民館長	瀬藤 利久	(3年目)
	集落支援員	内木 健二	(6年目)
	(臨時職員)公民館	熊崎さおり	(5年目)
	(臨時職員)庁舎清掃	児玉 節美	(5年目)

図書室だより

【5月おすすめ図書】

■川のほとりに立つ者は (著 寺地はるな)

カフェの若き店長・原田清瀬は、ある日、恋人の松木が怪我をして意識が戻らないと病院から連絡を受ける。松木の部屋を訪れた清瀬は、彼が隠していたノートを見つけたことで、恋人が自分に隠していた秘密を少しずつ知ることになる。

■15歳からの社会保障 人生のピンチに備えて知っておこう! (著 横山北斗)

日常生活でピンチに見舞われた10人のストーリーを通して、社会保障制度がやさしく学べる。あなたや大切な誰かを守るために知っておこう。学校では教えてくれない、生きのびるための大切な知識。

■解きたくなる数学 (著 佐藤雅彦, 大島遼, 廣瀬隼也)

「ピタゴラスイッチ」制作メンバーによる、これまでにない数学問題集。おもしろなキーキャッチやチョコレート…。魅力的な写真とグラフィックで表現された23題を紹介。論理の組み立てが学べ、思考のジャンプが身につく。

■銭天堂 ふし駄菓子屋 18 (作 廣嶋玲子 絵 jyajya)

企画が出なくなった招き猫たちに、紅子は過去の思い出を語り始める。紅子はそのむかし、行商スタイルで、ひとり駄菓子を買っていた。戦国時代からバブル期、墨丸との出会い、銭天堂開店の瞬間などの出来事が明かされる。シリーズ第18巻。

■もうじきたべられるぼく (作 はせがわゆうじ)

「ぼくはうしろからもうじきたべられる」。TikTokで300万回再生された泣ける話を書き下ろし。"たべられること"を受け入れたぼくが、さいごにしたかったことは…。食育にもおすすめの絵本。



加子母の人口と世帯数(令和5年4月1日現在) 世帯数:950世帯 男:1,211人 女:1,260人 計:2,471人